

令和7年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：27019
学校名：八軒北小学校

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果			分析
体力・運動能力 <男子>	○前回の記録とほぼ同程度もしくは上回った種目 握力、上体起こし、反復横跳び、ソフトボール投げ、長座体前屈	○前回の記録よりも下回った種目 50m走、20m シャトルラン、立ち幅跳び	・各学級に4つのボールを配付していることもあり、中休みの遊びはボール遊びを中心に行われている。また水曜日は全校外遊び day に設定していることもあり、運動機会の充実によって「投げる」ことにおける力が高い傾向が出ている。
体力・運動能力 <女子>	○前回の記録とほぼ同程度もしくは上回った種目 握力、反復横跳び、ソフトボール投げ、長座体前屈	○前回の記録よりも下回った種目 上体起こし、50m走、20m シャトルラン、立ち幅跳び	・平日に学習以外で、1日3時間以上テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ている児童が80%いることがわかった。日常的な運動における効果や大切さを体づくり運動や保健の学習を通じて伝えていく。
運動・スポーツへの意識、運動習慣	「運動やスポーツをすることは好き」と回答する割合の子どもの割合 R5 男 96%・女 88% R6 男 87%・女 90%	体育の授業を除く、1週間の総運動時間が60分未満の「ほとんど運動しない子ども」の割合 R5 男 2%・女 2.4% R6 男 6.2%・女 5.0%	・「体力合計点」と「体育の授業が楽しい」のクロス集計の結果から、体育授業の中で楽しいと感じている子は、体力合計点も高くなっていることが分かった。
三つの取組			
①体育・保健体育等の授業の充実			②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組
③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組			
具体的な取組	1. 体育の学習は6年間を見通して進められるよう研修などを通じて教職員間で共有し、授業づくりに生かす。 2. 鉄棒週間、マット運動週間、跳び箱運動週間では安全に留意し、発達段階に応じた学習に取り組む。 3. ICTを積極的に活用した学習を充実させていく。子どもが自ら課題を発見したり、仲間と学びを深めたりし、課題探究的な学習を行っていく。 4. 保健・体育の出前授業等を積極的に活用していく。	○休み時間も運動に浸ることができる環境整備（鉄棒週間、跳び箱週間） ○休み時間の外遊び、屋上遊びの推奨 ○様々な運動ができる場の設定（縄跳び、一輪車、竹馬、ドッジボールコート） ○全校一斉外遊び day の設定	○全校一斉外遊び day の設定 中休みに全員が外で遊ぶ日を設定する。学級や学年で子どもたちが主体となって外遊びを計画する。 ○委員会活動で異学年交流イベントの実施 夏・冬に体育館やグラウンドで体を動かしたり、遊んだりできる場を委員会で企画・設定。
家庭・地域との連携・協働	・水泳学習、スキー学習での地域、保護者の方のボランティアの充実 ・保護者と一緒に取り組む体づくり運動の計画 ・パラリンピック出場経験者による出前授業実施 ・各単元におけるゲストティーチャーの指導補助依頼		